

洗足学園音楽大学

2021年度バレエコース本公演「ジゼル」①

2021年12月23日(木) 開演17:30(開場17:00)

会場 洗足学園 前田ホール

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。

谷桃子バレエ団芸術監督	高部尚子		
再振付・指導	永橋あゆみ		
原振付	ジャン・コラーリ	ジュール・ペロー	マリウス・プティパ
作曲	アドルフ・アダン		
バレエミストレス	井口美穂	日原永美子	朝枝めぐみ
	佐藤麻利香	永井裕美	

【作品解説】

【第1幕】

第1場

ライン川のほとりにある小さな村に、すこし身体が弱く繊細だが、明るく踊り好きの村娘ジゼルが母親のベルタと暮らしている。彼女はロイスという若者を愛していた。実はロイスはシレンジア公国の公爵アルブレヒトで、戯れに貴族という身分を隠してジゼルに近づいている。また同じ村の森番(領主から狩猟場の管理を任されている)ヒラリオンも彼女を密かに愛しているが、ロイスに心奪われているジゼルは彼の好意に気付かない。偶然にロイスとジゼルの楽しげに語り合う姿を目撃したヒラリオンは、無粋にも自身の愛を伝えるべくジゼルに強引に言い寄るが、ロイスの威厳が無言の威圧感となり彼を引き下げる。

第2場

ぶどう畑で働く村娘たちがジゼルを仕事に誘いに来る。ジゼルは、恋人ロイスの紹介もそこそこに、皆を踊りに誘い込む。踊りに興じる中に、息が上がり胸を押さえ立ち止まるが、優しくいたわるロイスに元気を取り戻し、二人は愛の深まりを確認する。

そこにジゼルの母親ベルタが現われ、昔からの言い伝えで踊り好きの未婚女性は、死後ウィリーになりこの世とあの世をさまよいつける話で諫め、ジゼルを家に連れて帰る。

独り残されたロイスは、遠くから聞こえてくる狩りの角笛にあわてて身を隠す。自分の本当の身分を知っている貴族の狩りの一行に間違いないと思ったからである。それを物陰から見ているヒラリオンは、以前からロイスの醸し出す雰囲気や身のこなしに違和感を持っていたので、嫉妬心もあり、彼の正体を確かめるべくロイスの小屋に忍び込む。

第3場

この辺り一帯の領主であるクーランド大公は、娘のバチルド姫や、取り巻きの貴族たちと狩りを楽しんでた。バチルド姫はアルブレヒトの婚約者であるが、疲れを癒す為に立ち寄ったのが偶然にもベルタの家であった。ジゼルにとって初めて接する王女は、全てが感嘆の的であったが、バチルド姫にとってもジゼルの純真な乙女らしさが好意を抱かせた。お互いに婚約中の身であることを知った王女は、お祝いに自らのネックレスをジゼルに与える。

他の貴族たちが狩りを続けるために立ち去り、大公とバチルド姫は休息を取るためにベルタの家に入る。誰もいなくなった広場に、ロイスの家からマントと長剣を持ったヒラリオンが現れる。ロイスの身分を明かす証拠を見つけた彼は、これでジゼルの気持ちを自分に向かせる事が出来ると、感情の高まりを押さえながらその場を立ち去る。

第4場

ぶどうの収穫を祝う祭りが始まり、その女王に選ばれたジゼルや、友人の男女の踊りが祭りを一層華やかにする。ジゼルの友達、村の若者の男女、更にロイスも加わって、踊りが最高潮に達した時、ヒラリオンが現れロイスの正体を暴く。半信半疑ながらも、角笛で呼び戻されたバチルド姫に対するロイスの態度を見て、全てを悟ったジゼルは、悲しみと錯乱で正気を失ってしまう。狂気の中で、想い出、妄想、現実が入り乱れたまま、最後にロイスの腕の中に飛び込む。

ジゼルの死によって、初めて自分が心からジゼルを愛していたことに気が付いたアルブレヒトは、全身を駆けめぐるやり場のない悲しみに、その場にいたたまれずに走り去る。

【第2幕】

第1場

木々がうっそうと生い茂り、薄暗く静かな夜の墓場。

ジゼルの死という予想外の結末に、悔恨の情にさいなまれるヒラリオンは、墓を訪れる。ジゼルの墓を見つけるが、怪しい気配を感じて恐怖が先に立ち逃げ去ってしまう。日没とともに現れるウィリーに捕まったが最後、誘惑の踊りに抗うことはできず、死ぬまで踊らされることになるのである。

ヒラリオンが走り去った後、ウィリーの女王ミルタが現れ、ミルテの枝を折りとって、ウィリーたちを呼び起こし、儀式が始まる。

第2場

儀式が進み、墓から呼び起こされたジゼルは、ウィリーとして生まれ変わる。

第3場

愛する人を亡くし悲嘆に暮れるアルブレヒトが、ジゼルの墓に花を供える。森に漂う妖気に、身の危険を感じた従者ウィルフリードの忠告も退け、独り残り変わらぬ愛とやりきれない思いに身を委ね沈み込むアルブレヒト。

そこにウィリーとなったジゼルが、やはり強い愛を捨てきれずに現れる。アルブレヒトは、夢とも幻ともつかぬジゼルの姿を目にすることができたことを喜び、二人の愛は再燃する。しかし、ジゼルはしょせん人間ならぬウィリーの身、愛の証の花を与え、消えてしまう。アルブレヒトはその花を抱いたままジゼルを探す様にさまよい歩く。

第4場

ヒラリオンはウィリーの群れに誘い込まれ、踊り続け、遂には沼に突き落とされて死にいたる。そして次はアルブレヒトもウィリーたちの餌食となるべく女王ミルタの前に引き出される。ジゼルはアルブレヒトを助けようと十字架の処へ連れて行くが、ミルタに踊りを命じられる。ミルタの魔力が通じない十字架のそばに立ちながらも彼女の踊りに強く惹きつけられたアルブレヒトはその場を離れる。

以前にもましてかたく結ばれた二人は、哀愁を漂わせながらも愛を謳歌する。何者にも恐れずジゼルへの愛を高らかに謳うアルブレヒト。人間的な感情がよみがえったジゼルは、アルブレヒトを助けたい一心でミルタに逆らう意思をあらわに舞う。アルブレヒトが、ジゼルへの深い愛の証明とミルタに命じられる踊りに、持てる限りの力をつかい果し瀕死の状態に陥ったその時、暁を告げる鐘の音が聞こえる。

夜明けが訪れ、ミルタとウィリー達は、元の墓へと帰って行く。そしてジゼルも消えてゆかねばならない。二人は悲痛な思いで最後の別れを惜しむ。

死して尚、ジゼルはアルブレヒトを愛し、許し、命を救ったのである。

【第1幕】

ジゼル	齊藤綾乃(学4)		
アルブレヒト	今井智也(谷桃子バレエ団団員)		
ヒラリオン	市橋万樹(谷桃子バレエ団団員)		
ベルタ	篠原礼奈(谷桃子バレエ団研修生)		
ウィルフリード	土井翔也人(谷桃子バレエ団団員)		
クーランド大公	齊藤拓(谷桃子バレエ団団員)		
バチルド姫	岡田美桜(学4)		
ペザントパドゥ	奥山紗希子(学4)	鈴木謙信(学1)	
パドシス	青木優香(学4) 遠藤葵(学4)	伊藤沙恵(学4) 藤井莉子(学4)	伊藤万里江(学4) 湯本芽衣(学4)
村娘たち	木村真里亜(学3) 竹内和(学3) 福井萌々果(学3) 齋藤舞(学2) 伊藤麗知(学1) 柳本音桜(学1)	小松恵美里(学3) 田代有乃(学3) 秋山真桜(学2) 住吉萌寧(学2) 大井彩花(学1)	新城沙耶(学3) 新國優(学3) 奥澤愛深(学2) 馬場遥香(学2) 宮本萌亜(学1)
貴族たち	磯垣奈々(学4)	石橋夏帆(学2)	澤田萌(学2)
従者	高橋奨真(谷桃子バレエ団研修生)		加瀬亮磨(谷桃子バレエ団研修生)

【第2幕】

ジゼル	小暮菜帆(学4)		
アルブレヒト	今井智也(谷桃子バレエ団団員)		
ヒラリオン	市橋万樹(谷桃子バレエ団団員)		
ウィルフリード	土井翔也人(谷桃子バレエ団団員)		
ミルタ	吉田彩友美(学4)		
ドゥウィリー	遠藤葵(学4)	磯垣奈々(学4)	
ウィリーたち	伊藤沙恵(学4) 木村真里亜(学3) 竹内和(学3) 福井萌々果(学3) 奥澤愛深(学2) 住吉萌寧(学2)	伊藤万里江(学4) 小松恵美里(学3) 田代有乃(学3) 秋山真桜(学2) 齋藤舞(学2) 馬場遥香(学2)	藤井莉子(学4) 新城沙耶(学3) 新國優(学3) 石橋夏帆(学2) 澤田萌(学2) 大井彩花(学1)

指揮／井田 勝大

Katsuhiko Ida

【現在の活動】

K-Ballet COMPANYをはじめとする、国内外のバレエカンパニーの指揮を務める。

シアター オーケストラ トーキョー 指揮者

エリザベト音楽大学 講師

桐朋学園大学 特任講師

洗足学園音楽大学 非常勤講師

【略歴】

鳥取県生まれ。東京学芸大学音楽科卒業、同大学院修了。2003年から来日オペラ団体の公演に制作助手として携わり、ミラノ・スカラ座、ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、東京のオペラの森などで小澤征爾、ズービン・メータのアシスタントを務める。

2007年、東京バレエ団『ドナウの娘』日本初演にあたり指揮者アシスタントとして楽譜の修正を含め大きな役割を果たす。2007年11月、Kバレエカンパニー『白鳥の湖』公演でデビュー。以降、Kバレエカンパニーの多くの公演を指揮するほか、東京バレエ団、新国立劇場バレエ団、東京シティ・バレエ団、谷桃子バレエ団、ウィーン国立バレエ団、ロシア国立モスクワ・クラシックバレエ団等、国内外のバレエ公演を指揮。2018年4月以降、NHK『バレエの饗宴』で指揮を務めている。

また、音楽制作ではKバレエユース「トム・ソーヤの冒険」、Kバレエカンパニー「カルメン」「クレオパトラ」において選曲、編曲を担当している。2009年4月、CD「熊川哲也のくるみ割り人形」をリリース。オーケストラとは東京フィルハーモニー交響楽団や東京交響楽団、日本センチュリー交響楽団、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団、広島交響楽団、九州交響楽団などと共演。その他、アマチュアを含め多数のオーケストラや合唱団を指導している。

トランペットを田宮堅二、田中昭、山城宏樹の各氏に、指揮法を山本訓久、高階正光の各氏に師事。

現在、シアター オーケストラ トーキョー 指揮者。エリザベト音楽大学講師、桐朋学園大学特任講師、洗足学園音楽大学非常勤講師。

洗足学園音楽大学フィルハーモニーオーケストラ

Concertmaster	物集女 純子				
1st.Violin	羽子岡 智美	谷向 佑香	宮永 理央	甲斐 涼太郎	
	堀口 健人	高田 智恵	伊澤 郁奈	澤崎 杖也	森田 絢子
2nd.Violin	眞中 望美	大塚 樹里	池田 実結	田中 彩生	
	大槻 茉莉子	伊藤 みや乃	雨川 笑子		
Viola	古川原 裕仁	門井 晴子	高橋 楓	渡辺 雅之	
Violincello	有梨 瑳理	丹野 陽介	加賀谷 ひなた		
Doublebass	笠原 勝二	中村 勇一	遠藤 可奈子	長竿 由紀子	石橋 京子
Flute	有田 紘平	幅 絵理香			
Oboe	小中 ひかる	三浦 奈緒			
Clarinet	椿 秀隆	久高 友加梨			
Bassoon	春山 竜也	吉田 南			
Horn	大塚 季	神野 了丞	白戸 麻未	吉田 真菜	
Trumpet	富岡 愛彩美	香取 伸弥			
Trombone	加藤 巧樹	鵜飼 杏	武石 拓海		
Timpani	金 蘭花				
Percussion	島津 翠	細野 幸一			
Harp	熊倉 実里				

2021年度バレエコース

【4年生】

青木優香	阿部眞子	五十嵐響香	石渡雅月	和泉佑果	磯垣奈々
伊藤沙恵	伊藤万里江	碓井友	遠藤葵	大友遥	岡田美桜
岡本櫻子	奥山紗希子	加藤早冬花	神谷陽菜	神田日菜	工藤修子
小暮菜帆	齊藤綾乃	志村朱紀	白吉理子	鈴木未夢	鈴木海和子
鈴木萌加	永山めぐみ	西森玲代	沼倉佑菜	根本茉依	林萌々子
藤井莉子	星野翔太	光永愛望	森川花音	森田唯	矢幡友梨
湯本芽衣	吉田彩友美				

【3年生】

内田沙菜	木村真里亜	小市幸奈	小松恵美里	新城沙耶	竹内和
田代有乃	大黒秀香	辻歩佳	飛澤雪乃	成澤心優	新國優
福井萌々果	本間響	村田圭楊	望月理帆		

【2年生】

秋山真桜	石塚友萌子	石橋夏帆	岩崎遥	碓田もえ	岡田花
奥澤愛深	菊地唯奈	齋藤花恋	齋藤舞	澤田萌	住吉萌寧
関根珠希	田中翼紗	長芽有莉	寺田百花	鳥谷香那	中西璃乃
仲野莉那	中村理音	長尾結菜	長島英舞	能勢舞香	原愛珠
馬場遥香	堀江紗彩	松原舞美	山田汐音		

【1年生】

伊藤麗知	大井彩花	大竹菜月	大村詩織	小澤真子	木村愛花
古室日菜乃	齊藤里桜	鈴木謙信	高橋伶奈	竹内遥	中山喜堅
永山稀恵	濱川彩乃	宮本萌亜	柳本音桜	吉田悠菜	

舞台スタッフ

舞台監督	浅田光久		
音響	アートスタジオY's		
映像	林洋子		
	音楽・音響デザインコース学生		音楽環境創造コース学生
映像制作	合同会社 シンクロロン・スタジオ		
照明	瀬戸あずさ	森規幸	音楽環境創造コース学生
照明操作	清水典子	三浦詩織	
大道具	ユニ・ワークショップ		
衣装美術	緒方規矩子		
谷桃子バレエ団衣裳部	山口三枝子		
企画制作	洗足学園音楽大学		

[洗足学園音楽大学 バレエコースホームページはこちら](#)

